

滴翠
美術館
秋季展

翰墨清玩

書と文房の情景

水色

茶席において「第一の道具」とされ、亭主の心や座の趣向を無言のうちに語る掛物。本秋季展では、茶の湯と深く結びついた書の美と、それを支える道具の取り合わせを展覧いたします。

禅の精神を映し出し茶席に格調を与える「墨蹟」、茶人が愛してやまない先人の「消息」など、床の間を彩る名筆の数々。本展ではさらに、これらが生み出される卓上の世界にも「数寄のまなざし」を向けました。

硯や筆の基本道具に加え、卓上の結界となる硯屏、水を湛える水滴、筆を休める筆架や筆筒、墨床、筆洗など、書卓を彩る道具の数々を一堂に展示。かつての茶人や文人たちが書院飾りや文房飾りとして愛でた道具類の「取り合わせの妙」は、まさに卓上の枯山水とも言える情景です。

時代を超えて今に伝わる、書と道具の深き縁に想いを馳せていただければ幸いです。

2026 9.15 tue. — 12.13 sun.

KANBOKUSEIGAN

滴翠美術館

TEKISUI MUSEUM OF ART

滴翠美術館 〒659-0082 芦屋市山芦屋町 13-3 [TEL] 0797-22-2228

開館時間 10:00-16:00 (入館は 15:30 まで) 月曜休館

入館料 一般 700 円 / 高大生 500 円 / 中学生以下無料 / 団体 15 名様以上 2 割引 / その他各種割引あり

アクセス [電車] 阪急芦屋川駅より徒歩約 8 分 / JR 芦屋駅より徒歩約 15 分 / 阪神芦屋駅より徒歩約 25 分

[お車] 阪神高速道路芦屋出口より約 10 分